

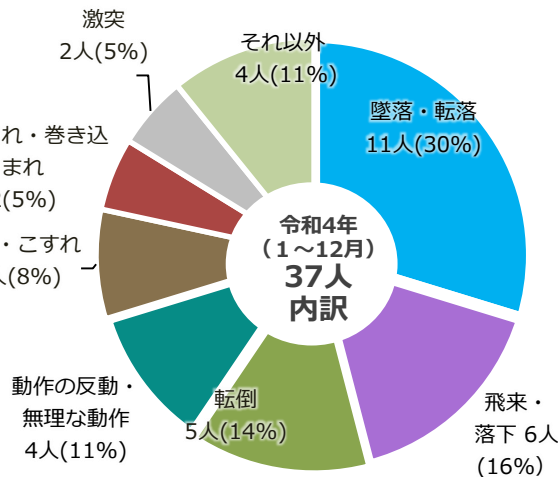
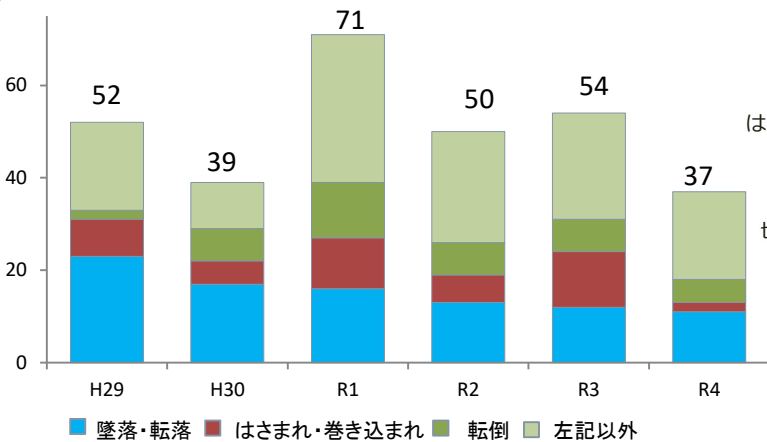
亀戸署管内の建設業における平成29年～令和4年に発生した死亡災害は、9件で、うち4件は墜落・転落によるものです。

また、令和4年の死亡及び休業4日以上労働災害は、37人となっており、そのうち30%が「**墜落・転落**」によるものであり、依然高い割合を占めています。

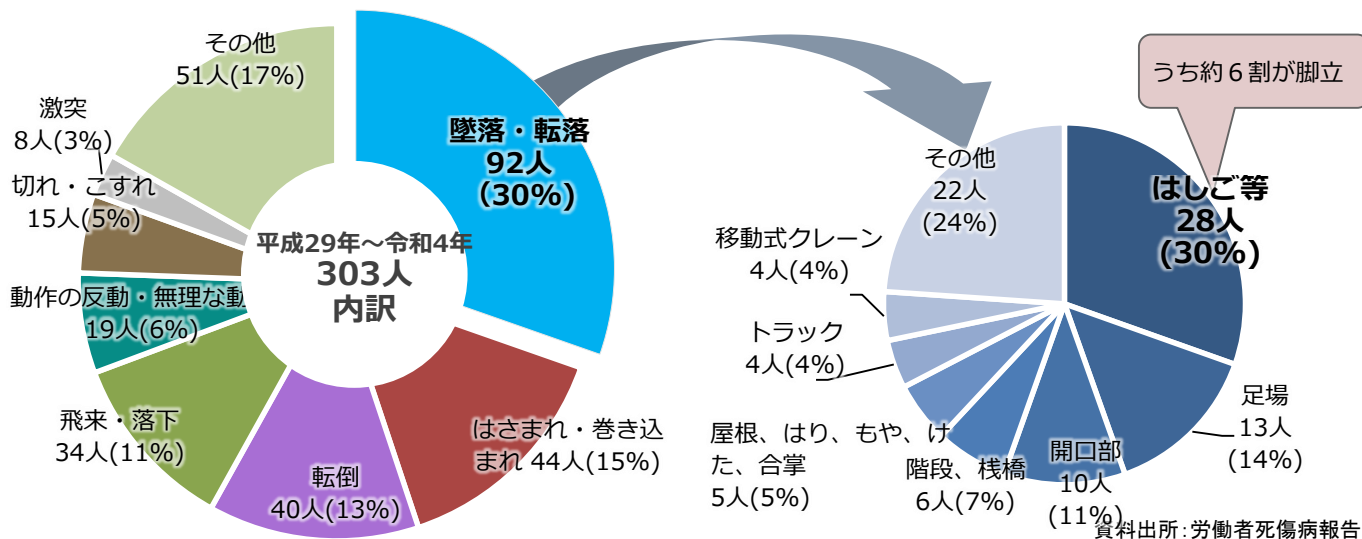
新型コロナウイルス感染症り患によるものを除く

事故の型別発生状況

(人)



事故の型別・起因物別の死傷災害発生状況 (平成29～令和4年・亀戸署)



建設業における死亡災害事例 (令和2年～・亀戸署)

資料出所: 死亡災害報告

年月	業種	事故の型	起因物	職種	年代	経験年数	災害の概要
R4年2月	建築工事業	墜落、転落	屋根、はり、もや、けた、合掌	解体工	20歳代	1年以上5年未満	解体工事現場において、2階屋上で養生シートを設置していたところ、天窓を踏み抜き墜落したものを。
R4年1月	建築工事業	墜落、転落	足場	とび工	30歳代	10年以上20年未満	足場解体作業に伴い、足場の10層目付近にて足場のメッシュシートを外す作業を行っていたところ、足場から墜落したものを。
R3年12月	土木工事業	転倒	その他の乗物	作業員・技能者	50歳代	20～30年	被災者と船の運転者の2名で、しゅんせつ工事によって発生した土砂を船で所定の処分場へ捨てに行く作業を行っていた。土砂を捨て終え、船は工事現場まで戻ってきたが、被災者が船から出ないため元請職員らが確認したところ、被災者が船上でうつ伏せに倒れていた。
R3年10月	土木工事業	おぼれ	水	管理者	60歳代	20～30年	被災者は海上にて海底地盤改良工事を行っている大型作業船での作業を終え事務所に戻るため、大型作業船から交通船に乗船し、海上を移動していた。移動中、被災者が船外に出たところ船が横波を受け、その揺れにより被災者は落水した。

# 典型的な災害発生原因（墜落・転落死亡災害事例）

出典：職場のあんぜんサイト（厚生労働省）

## はしご

### No.1 はしごの昇降時に手足が滑る

【事例】 はしごを急角度で立て掛けたのに固定せず、転位を防止する措置を講じず墜落した。

#### ワンポイント対策例

はしごは、転位を防止する措置を行うこと。また、墜落防止措置を行うこと。

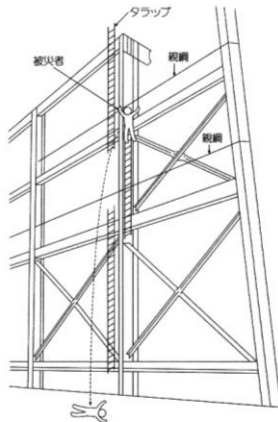


### No.2 タラップの移動時滑る

【事例】 昇降タラップが水滴により滑りやすかったため、墜落した。

#### ワンポイント対策例

梁を移動することのないよう、効率的な作業計画を作成する。



### No.3 はしごからバランスを崩す

【事例】 はしごに転位を防止する措置がなされていなかったこと。

#### ワンポイント対策例

高所作業がある場合は、作業床のある踏台・作業台を使用すること。



## 脚立

### No.1 ボード張り作業中バランスを崩す

【事例】 ボードを持ち上げ壁張り中ふらついて墜落した。

#### ワンポイント対策例

手すり付き脚立の使用を検討する。

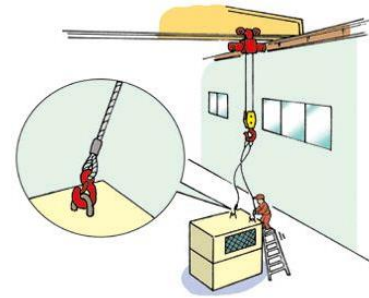


### No.2 玉掛け作業者が脚立上から墜落

【事例】 つり荷の玉掛け作業中にバランスを崩し墜落した。

#### ワンポイント対策例

安定した作業床が確保できる方法を検討する。



### No.3 天井内点検中にバランスを崩す

【事例】 開き止めをセットせずに作業中、バランスを崩す。

#### ワンポイント対策例

脚立を設置する際は、必ず開き止めを行うこと。

